

令和5年度神奈川県生活習慣病対策委員会がん・循環器病対策部会
各分科会 開催状況等について

1 各分科会の開催状況について

(1) 循環器疾患等分科会

開催見送り

(2) 胃がん分科会

令和6年2月16日(金) WEB 会議形式で開催

(3) 子宮がん分科会

令和6年1月30日(火) WEB 会議形式で開催

(4) 乳がん分科会

令和6年2月14日(金) WEB 会議形式で開催

(5) 肺がん分科会

令和6年2月9日(金) WEB 会議形式で開催

(6) 大腸がん分科会

令和6年1月31日(水) WEB 会議形式で開催

2 がん分科会の主な議題

(1) 令和2年度市町村各がん検診の実施状況について

(2) 市町村等のがん検診の精度管理について

(3) がん検診に係る取組みについて

3 各がん分科会の開催概要

(1) 胃がん分科会

開催日：令和6年2月16日(金)

開催形式：ZOOMを使用したWEB 会議形式

委員出席数：5名

【委員からの主な意見】

○ 受診率が低いことが問題だと思うが、リーフレットの配布先など、もう一步踏み込む必要があると思うがどうか。

⇒ このリーフレットの配布先には、県で協定を結んでいる保険会社が含まれているが、保険会社が営業に回るとき、あるいは企業を回るときに、直接県民の方に届けてもらっている。また、乳がんではスポーツイベントでマンモグラフィの車を出していただいて検診を受けてもらう取組みもしている。

(2) 子宮がん分科会

開催日：令和6年1月30日(火)

開催形式：ZOOMを使用したWEB 会議形式

委員出席数：7名

【委員からの主な意見】

○ 精検受診率が低いというのは、一番あってはならないことである。全体として

改善が必要である。県としては、具体的にどのように対策を取っていくのか確認したい。

⇒（県）市町村へのヒアリングを始めたところであるが、まだ実態を把握できていない市町村があるため、引き続き調査を進め、市町村と課題を共有しながらどう改善するか検討していきたい。また、市町村がん検診実務担当者研修会等の場で情報発信を行うことで、精検受診率の改善を図ってきたい。

○ 各市町村と医師会でがん検診のワーキングをして、どうして数値が低いのかを考えながら、受診勧奨を促していくということが必要である。厚木市では、数値は低いものの、そうした取組を行っている。

また、県から話があった、市町村がん検診担当者が集まる会議の場で、呼び掛けを続けていくことも大切であると思う。

（３）乳がん分科会

開催日：令和6年2月14日（金）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：5名

【委員からの主な意見】

○ コール・リコールを全員に対して行う市町村が増えてきたのは良い傾向であると思う。更に呼びかけを行ってほしい。今日説明したような内容は各市町村へフィードバックすると思うが、どのように行っているのか。

⇒（県）先ほど報告した検診機関への聞き取り内容や、都度行っている市町村への照会結果などは、逐次メールで迅速に共有するようにしている。

年に一回、夏ごろに市町村のがん検診担当者を集めた研修会を行っており、地域保健・健康増進事業報告の数値を正しく入力するよう依頼したり、分科会で出た意見を伝えたりする場としている。

（４）肺がん分科会

開催日：令和6年2月9日（金）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：6名

【委員からの主な意見】

○ 二次読影は専門医が見るから、一次読影をできる範囲でやってください、というように、一次読影のハードルを下げれば、肺がん検診に参加するクリニックが増えるのではないかと思う。

○ 医療従事者間の勉強会は人材育成にも係る大切な問題で、取り組んでいかないといけない課題だと思う。何かしらの形で現状を把握しフィードバックして、読影の技術を上げていくようにしたい。

（５）大腸がん分科会

開催日：令和6年1月31日（水）

開催形式：ZOOMを使用したWEB会議形式

委員出席数：5名

【委員からの主な意見】

- たばこやアルコール等によるリスクは国立がんセンターのホームページに載っているが、意識していないとなかなかホームページには辿り着かないので、県での情報発信は大事である。受診率を上げることは大事だが、発症率を下げることも大事だと思う。
- 大腸がん検診は、若年者はあまり受けていないと思う。受診率を上げるために、若年者に受けてもらうにはどうするかを考える必要がある。

以上